



麻生田大橋遺跡出土土偶（豊川市桜ヶ丘ミュージアム蔵）

縄文時代の精神文化を特徴づける遺物の一つに土偶が挙げられる。この2体の土偶は、東名豊川インターチェンジの南約500メートルに位置する麻生田大橋遺跡で出土した。縄文時代終末から弥生時代初頭にかけてのもので、縄文土偶の最終形態である。

大型のものは全長16.8cmの有髪土偶で、後頭部に結髪状の表現がなされ、耳部には耳飾りを装着した可能性のある穿孔が認められる。胸部には小さな乳部が表現され、女性を表現したものと推定される。小型のものは全長8.5cmをはかり、後頭部は結髪状に張り出し、頭頂部に両側から刺突、耳部に穿孔が認められる。女性的表現が欠如しているため、男性を表現したものと推定される。両者は、墓の可能性を有する土坑から意識的に男女セットで埋納された状況で出土しており、土偶祭祀を知るうえで貴重な資料である。

## 目 次

●平成8年度愛知県博物館協会総会報告	.....	2
●新規加盟館紹介	.....	4

平成 8 年度

## 愛知県博物館協会総会報告

平成 8 年度愛知県博物館協会の総会が、5月23日(木)名古屋市千種区の「ルブラ王山」で開催され、参加館63館、84名の出席がありました。以下総会の概略を報告します。

### 1. 会長挨拶…福田清彦氏

(愛知県陶磁資料館館長)

来賓挨拶…永谷敏一氏

(県教委・文化財課課長)

木村好夫氏

(県教委・文化財課主査)

### 2. 表彰…尾西市歴史民俗資料館(功労賞該当)

前館長 足立 重喜氏

(財)博物館明治村(功労賞該当)

管理リーダー 加藤 正之氏

(財)日本モンキーセンター(功労賞該当)

亀谷 勝司氏

愛知県美術館(功労賞該当)

前美術課長 坂下 雄彦氏

熱田神宮宝物館(感謝状該当)

前文化課長 武田 定雄氏

でんきの科学館(感謝状該当)

前館長 寺沢 安正氏

愛知県陶磁資料館(感謝状該当)

前主査 浅埜 勲氏

### 3. 新加盟館紹介挨拶

・新城市設楽原歴史資料館

・春日町中央公民館郷土資料室

・豊田市美術館

・岡崎市美術博物館

### 4. 議事

(座長 愛知県陶磁資料館館長 福田清彦氏)

#### (1)平成 7 年度事業報告及び決算報告について

##### 1. 研修会の実施

###### (1)愛知県博物館等職員研修会

平成 7 年 8 月 30 日～31日 豊川閣寺宝館

###### (2)部門別研修会

###### ⑦自然科学部門

平成 8 年 2 月 8 日 豊橋市自然史博物館

###### ①美術部門

平成 8 年 2 月 22 日 昭和美術館

###### ⑨歴史民俗部門

平成 8 年 3 月 13 日 名古屋市博物館

#### 2. 東海地区博物館連絡協議会総会の参加

平成 7 年 6 月 20 日～21日 横浜市

#### 3. 第20回東海三県博物館協会交流研修会

平成 7 年 10 月 4 日～5 日 三重県

#### 4. 表彰の実施

功労賞 7 名・感謝状 1 名(氏名略)

#### 5. 印刷物の作成・配付

(1)「おでかけガイド—愛知の博物館」

春・秋 計 2 回

(2)協会報「愛知の博物館」No62～63

#### 6. 会議等

(1)総会 1 回 (2)理事会 2 回 (3)実行委員会 7 回

#### 7. 平成 7 年度加盟館

(1)退会 1 館 (2)新加盟館 1 館

#### 8. 平成 7 年度決算報告

監査報告、愛知県美術館

以上説明の後審議され、いずれも承認されました。

#### (2)役員改選について

### 愛知県博物館協会役員 (平成 8・9 年度、館名50音順)

役職名	館(園)名	代表者名	備考
理事	愛知県陶磁資料館	館長 福田 清彦	会長
◆	熱田神宮宝物館	館長 岡地 幸雄	副会長
◆	一宮市博物館	館長 小川 守	
◆	岡崎市郷土館	館長 稲垣 正弘	
◆	美和町歴史民俗資料館	館長 横井 実	8.4.1交替
◆	常滑市民俗資料館	館長 山本 博光	8.4.1交替
◆	知立市歴史民俗資料館	館長 羽佐田銀弘	
◆	でんきの科学館	館長 鈴木 達雄	
◆	徳川美術館	館長 徳川 義宣	
◆	豊橋市美術博物館	館長 兵東 政夫	8.4.1交替
◆	名古屋市科学館	館長 横口 敬二	
◆	名古屋市博物館	館長 清水 武	
◆	日本モンキーセンター	園長 小寺 重孝	
◆	博物館明治村	館長 村松貞次郎	
◆	鳳来寺山自然科学博物館	館長 横山 良哲	8.4.1交替
監事	愛知県美術館	館長 浅野 徹	
◆	昭和美術館	館長 柳澤 幸輝	

### 愛知県博物館協会実行委員 (平成 8・9 年度、館名50音順)

館(園)名	委員氏名	備考
愛知県陶磁資料館	浅田 貞由	(会長館)
熱田神宮宝物館	副野 均	(副会長館)
一宮市博物館	久保 貞子	(理事館) 8.4.1交替
岡崎市郷土館	内藤 高玲	( ◆ )
美和町歴史民俗資料館	鎌倉 崇志	( ◆ ) 8.4.1交替
常滑市民俗資料館	中野 晴久	( ◆ ) 8.4.1交替
知立市歴史民俗資料館	近藤 文枝	( ◆ )
でんきの科学館	水野 則雄	( ◆ )

徳川美術館	小池富雄	(理事館)
豊橋市美術博物館	高橋洋充	( タ ) 8.4.1交替
名古屋市科学館	佐伯平二	( タ )
名古屋市博物館	松本博行	( タ )
日本モンキーセンター	水野礼子	( タ )
博物館明治村	中野裕子	( タ )
鳳来寺山自然科学博物館	加藤貞亨	( タ )
愛知県美術館	木本文平	(監事館)
昭和美術館	海野嘉代	( タ )

#### 愛知県博物館協会事務局(平成8・9年度)

事務局長	中村真	愛知県陶磁資料館副館長
事務局	浦山正幸	タ 務課長
タ	村瀬寛	タ 務課課長補佐
タ	新川代二	タ 務課主査

#### (3)平成8年度事業計画及び予算について

##### 1. 事業

###### (1)愛知県博物館協会等職員研修会(一宮市博)

愛知県教育委員会と共に博物館関係施設等に勤務する職員を対象とする。

○期日 平成8年9月5日～6日

○会場 一宮勤労福祉会館

###### (2)部門別研修会

自然科学部門、歴史民俗部門、美術部門

○平成9年2月頃・会場未定

###### (3)東海地区博物館連絡協議会平成8年度総会

○期日 平成8年6月20日～21日

○会場 岐阜県美術館(徳川美術館)

###### (4)第21回東海三県博物館協会交流研修会

○期日 平成8年10月3日～4日

○会場 労働者研修センター(県陶磁資料館)

###### (5)表彰(事務局)

###### (6)印刷物の編集・発行

・協会報「愛知の博物館」2回発行

(熱田神宮宝物館・でんきの科学館)

・「おでかけガイド」秋・春2回発行

(豊橋市美術博物館・知立市歴史民俗資料館)

##### 2. 会議

総会 1回(平成8年5月23日)(事務局)

理事会2回(平成8年4月25日)(事務局)

実行委員会 12回

##### 3. 平成8年度予算

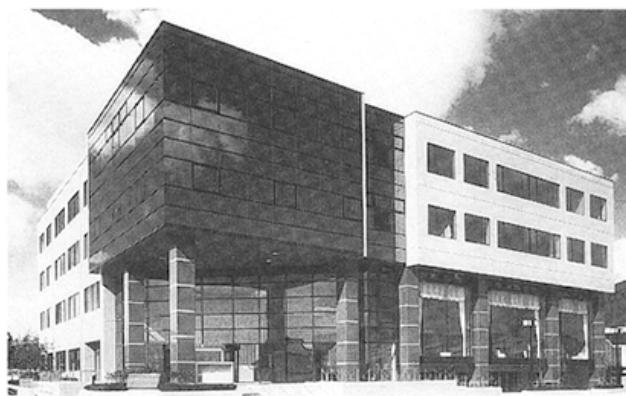
以上の説明の後、審議されいずれも承認されました。( )内は、8年度の企画等担当館名(文責、愛博協事務局)

※総会後、双葉電気通信株式会社顧問西村逸郎氏を迎えて、「博物館・美術館におけるマルチメディアについて」のテーマで講演会を実施、引き続き懇親会が開かれました。

## 新規加盟館紹介

平成8年度に当協会へ加盟されました館の概要をここに紹介します。

### 春日町中央公民館郷土資料室



所在地 〒452 西春日井郡春日町大字落合字東出8番地の2

電話 (052) 400-2700

交通 名鉄電車犬山線西春駅からタクシーで約10分

東名阪自動車道清洲東インターから約10分

沿革 春日町内の各所で保管されていた資料をまとめて保管・展示する文化財保護の場所として、また春日町の歴史や民俗について広く知りたい方の文化普及の場所として、平成2年の町制施行を記念して建設された春日町中央公民館の4階に設置された。

施設 公民館 敷地面積 7,603.8m<sup>2</sup>  
建築面積 1,820.1m<sup>2</sup>  
延床面積 4,718.6m<sup>2</sup>

構造 鉄筋コンクリート  
造 4階建

郷土資料室 開館 平成3年5月15日  
床面積 275m<sup>2</sup>

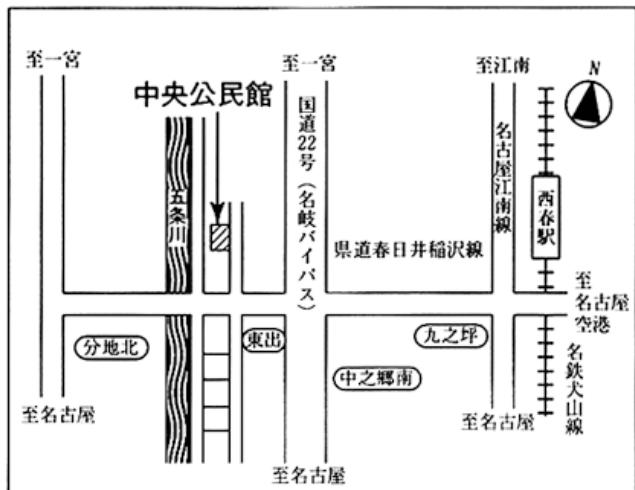
展示室 217m<sup>2</sup>  
整理室 10m<sup>2</sup>  
収蔵庫 48m<sup>2</sup>

開館 開館時間 10:00～17:00  
休館日 月曜日・第3日曜日・祝日  
年末年始(12月29日～1月3日)

その他臨時に休館することがあります。

**入館料 無料**

**特 色** 春日町内で使われていた農業・蚕業に関する民俗資料を中心に展示している。また町内の遺跡からの出土品もあわせて展示し、春日町の歴史と民俗について分かるようになっている。現在は特別展示として展示した春日町の祭りに関する資料を常設展に加えている。



## 豊田市美術館



**所在地** 〒471 愛知県豊田市小坂本町8-5-1  
**電 話** 0565-34-6610  
**交 通** [名古屋駅より名鉄豊田市駅まで]  
・地下鉄東山線伏見駅乗り換え、地下鉄鶴舞線豊田市行き終点下車  
[名鉄豊田市駅または愛知環状鉄道新豊田駅より]  
・徒歩12分、タクシーで約5分  
[お車ご利用の場合]  
・東名高速道路豊田ICより約10分

**沿革** 昭和54年7月

市民意識調査で、市民の20%が美術館の建設を望む声

昭和59年3月

第4次豊田市総合計画（1984～1990）

文化施設設備計画の中で、（仮称）豊田市美術館の建設を発表

平成2年4月

（仮称）豊田市美術館構想委員会設置

平成3年9月

（仮称）豊田市美術館・高橋節郎館基本計画設計策定

平成5年6月

建築工事着工

平成7年6月

建設工事竣工

平成7年11月

豊田市美術館開館

**施 設** 展示室9室、高橋節郎館展示室2室、講堂、図書閲覧室、AVブース、ミュージアム・ショップ、レストラン

**構 造** 鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）

**面 積** 敷地面積：30,041m<sup>2</sup>

建築面積：6,805m<sup>2</sup>

延床面積：11,121m<sup>2</sup>

**階 数** 地下2階、地上3階

**開 館** 午前10時→午後5時30分（入場は午後5時まで）

**入館料** 常設展／一般300円（250円）、高校・大学生200円（150円） 小・中学生無料、（ ）内は20人以上の団体料金

企画展／その都度定めます

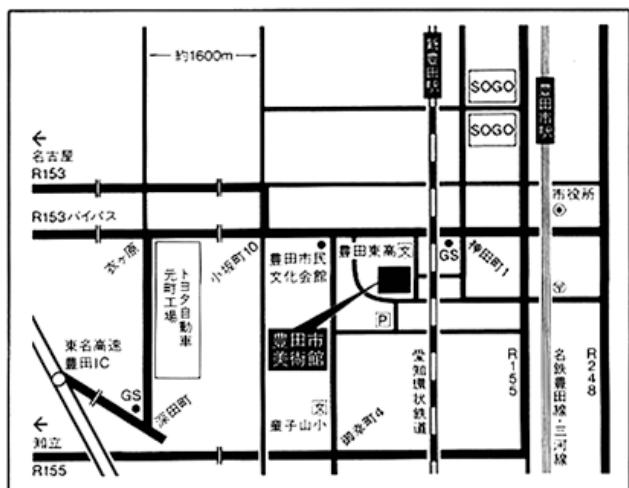
**休館日** 毎週月曜日（祝祭日は除く）、年末年始（12月28日～1月4日）、保守点検等の期間

**特 色** 「産業文化交流都市」をめざす豊田市の文化面をリードする新しい施設として、1995年11月にオープン。展示と鑑賞にポイントを置いて設計された展示室は、とくに採光について考慮されていて、明るくシンプルで落ちついた空間の中、来館者に最良のコンディションによる鑑賞の場を提案する。

当館では、国内外の近代および現代の美術、デザイン、工芸の流れを展望するにふさわしい作品を収集、常設展示すると

ともに、深い内容をたたえた意欲的な企画展を年間4回開催している。また図書閲覧室、A Vブースなど、美術に親しみ、より深い理解を得ていただくためのコーナーも充実。各種講座や講演会等のエデュケーション・プログラムも随時実施している。

豊田市美術館ではこうした活動を通じ、多くの人々の心を捉える魅力を備えた、静かで深く、かつ刺激的な美術館となることをめざしている。



## 新城市設楽原歴史資料館



所在地 〒441-13 新城市竹広字信玄原552

電話 (05362) 2-0673

交通 J R 飯田線

三河東郷駅より徒歩10分

新城駅よりタクシー10分

豊川 I C より車で約20分

沿革 天正3年(1575)、織田信長・徳川家康連合軍と武田勝頼軍が激しく戦った《長篠・設楽原の戦い》。連合軍は馬防柵と

火縄銃を用いて、武田軍の騎馬隊を打ち破る。その後、設楽原では、地元の人々が戦没者を供養するために毎年お盆になると火のまつり”火おんどり”を420年間欠かすことなく行ってきた。その古戦場の中心に資料館がオープンした。

- 施設** オープン 平成8年4月28日  
構造 鉄筋コンクリート造 平屋建  
面積 敷地面積: 9,682.0m<sup>2</sup>  
延床面積: 1,024.7m<sup>2</sup>
- 開館** 9:00~17:30  
**休館日** 毎週月曜日（月曜日が休日のときは翌日休館）・年末年始  
**観覧料** 一般個人 200円、一般団体（20名以上）150円、小中学生個人100円、小中学生団体（20名以上）50円、小学校3年生以下無料  
**特色** 展示室を大きく5つに分けて展示している。  
〔設楽原の戦いコーナー〕 戦いに関する古文書などの歴史資料、甲冑、設楽原からの出土品などを展示  
〔火おんどりコーナー〕 マネキンとビデオで火おんどりを紹介。  
〔火縄銃コーナー〕 100丁近い火縄銃を展示。火縄銃の歴史や構造についてもパネルで紹介  
〔岩瀬忠震コーナー〕 幕末に活躍した設楽原ゆかりの外交官岩瀬忠震が残した書画や書簡などを展示  
〔企画展示コーナー〕 設楽原一帯の遺跡等の出土品を展示

